

# 活動報告

## 共同研究員の刊行物

図録『寿岳文章 人と仕事展』増刷出来る

2021年向日市文化資料館で開催された特別展「寿岳文章 人と仕事展」の図録はしばらく品切れになっていましたが、増刷が出来ました。英文学者であり、和紙研究で知られる寿岳文章（1900-1992）を取り上げ、展示資料および本人の軌跡をまとめた図録です。

以前と同様、向日市文化資料館で頒布が再開されています。この機会にぜひご利用ください。

頒布場所 向日市文化資料館

〒617-0002

京都府向日市寺戸町南垣内 40-1

電話番号 075-931-1182

頒布価格 1冊 1,000円

郵送をご希望される方は、現金書留にて代金に送料310円をあわせて、お名前・ご住所・電話番号と寿岳展図録頒布希望の旨を書き添えてお送りください。2冊以上の場合は送料がかわりますので、事前に同館へお問い合わせください。



## おもなイベント

2024.09.10 「第57回関西学院史研究会」開催

演題：関西学院神学部の朝鮮人学生一留学の背景と意義—

講師：松谷基和氏（東北学院大学国際学部教授）

2024.10.24 「第58回関西学院史研究会」開催

演題：ミッション・スクールの建築史

講師：川島智生氏（神戸情報大学院大学客員教授、建築史家）

関西学院史研究会の記録は『関西学院史紀要』第31号に掲載予定です。



## 資料紹介

第2教授研究館から銅箱発見！

2024年5月20日、第2教授研究館（池内記念館）の説明銘板を撤去した際、「柱の中に銅製の箱が埋め込まれているのが見つかった」と、本学・施設統括部から連絡が入った（写真1）。さらに6月15日に定礎石（1986）を取り外した際、もう一つ、銅製の箱が見つかった（写真2）。

この第2教授研究館は経商両学部を中心とする教授研究館で、1958年に北側（日本庭園側）、1974年に南側東（池内記念館）、1986年に南側西が3期に分けて完成した。

2024年に第2教授研究館は解体され、その跡地には新学生サービスセンターが建設される計画である。

二つの銅箱には、1974年、1986年当時の大学・大学院要覧、名簿、新聞、硬貨などが収納されている（写真3、4）。これらの収納物からは、関西学院の教育を支えた第2教授研究館（池内記念館）の歴史が伺われる。



写真1 柱の中の銅箱



写真2 銅箱と定礎石



写真3 収納物 1974



写真4 収納物 1986

## 編集後記

- 『学院史編纂室便り』第58号では、関西学院大学博物館の展覧会「天を見あげて—関西学院のヴォーリズ建築—」（12月14日まで）にあわせて、「特集：時計台」を掲げました。アイアンワーク復元プロジェクトは続きますので、ご注目ください。
- 『学院史編纂室便り』バックナンバーは、学院史編纂室ホームページで公開しています。さらに第57号からは、関西学院大学リポジトリに登録しています。こちらもご利用ください。